

水害時の衛生対策

八幡浜保健所

【家屋等が浸水した場合】

豪雨時等に路面が冠水すると下水道が逆流する可能性があります。下水道には汚水が混入している場合がありますので、そのような汚水によって、家屋等が浸水した場合は、洗浄により十分に汚れを除去して消毒するようにしてください。

(消毒は、洗浄後でないで、効果を発揮することができません)

路面が冠水しない状況で雨水が浸水した場合は、水道水で洗浄後乾燥すれば衛生対策として十分です。

【衛生対策について】

家屋等が浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

<床上浸水の場合>

1. 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
2. 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。
3. 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
4. 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
5. 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
6. 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

<床下浸水の場合>

1. 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
2. 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。

【食中毒、感染症の予防に】

1. 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
2. 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった食品はできるだけ廃棄してください。
3. からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
4. 食事の前や用便の後などは、しっかりと手を洗ってください。



(問合せ先) 八幡浜保健所 感染症対策係
電話 0894-22-4111 内線 313

水害時の消毒方法一覧

消毒対象	消毒薬	調整方法	使用方法	注意事項
屋外（し尿槽や下水があふれた場所、動物の屍骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下）	クレゾール石けん	クレゾール石鹸液 30mL に水を加えて 1L とする。液が濁って沈殿物が生じた場合には上澄み液を使用する。	家屋のまわりは、じょうろや噴霧器などで濡れる程度に散布する。 壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液を浸した布などでよく拭く。または噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。	取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないよう注意すること。 皮膚についた場合には大量の水と石鹸でよく洗い流す。目に入った場合は、水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けること。 使用する直前に希釈し、希釈する濃度を守ること。 他の消毒薬や洗剤などと混合しないこと。 他の容器に移して保管しないこと。 浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。
	オルソ剤	オルソ剤 20mL に水を加えて 1L とする。		
屋内（汚水に浸かった壁面や床、家財道具）	逆性石けん	塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして 0.1% の濃度になるように希釈する。（10% 製品の場合、本剤 10mL に水を加えて 1L とする。） いろいろな濃度のものが市販されているので、希釈倍率に注意。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、希釈液に浸した布などでよく拭く。または噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。	
手指（後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指）	速乾性擦式手指消毒薬（逆性石けん、クロルヘキシジン、エタノール等の配合剤）	ポンプ式の容器に入れており、調整不要。	清潔な流水がある場合は、泥などの汚れを落とした後、原液を手に取り摩擦しそのまま乾燥させる。 清潔な流水がない場合は、そのまま原液を手に取り摩擦し乾燥させる。	
食器類	次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウムの濃度が 0.02% になるように希釈する。（10% 製品の場合には、本剤 2 mL に水を加えて 1L とする。）	食器を水洗いした後、消毒液に 5 分間以上浸漬させ、自然乾燥させる。	
井戸水	次亜塩素酸ナトリウム	残留塩素として 1~2ppm の濃度になるように調整する。（10% 製品を使用する場合は、水 1L につき 1 滴を加える。）	ポリタンク等に水を取り、消毒後 30 分以上放置してから飲む。	